

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市澁川町三丁目5番地7
 (澁川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



懐かしい路面電車が走る町は歴史と文化が香る東三河の中心地。

東海道五十三次
 吉田宿
 吉田宿は現在の豊橋市のほぼ中心部にあたる。中世には今橋と呼ばれ、永正三年(1504)に豊橋は久しびりに現代の牧野古台が城を築き、都市新幹線の止まる大きな駅ヤビルがどこか新鮮に感じられる。



「名物のうまいもの」
 うなぎ
 ・三河地方は日本有数の養鰻産地。
 ・菜めし田楽
 ・豆腐田楽と大根菜の菜めしの組み合わせは、素材でひなびた味わい。文政年間(1818-1830)の創業の老舗さく宗。
 ・ちくわ 豊橋名産「ヤマサちくわ」



豊川寺に入ると、商賈の神様豊川稲荷がある。初詣客が全国でも五本の指に入る。この地方きその名所である。お稲荷さまは普通は三位稲荷大明神(なご)と書かれた赤いノボリや朱の鳥居を遠想するが、豊川稲荷はこれとは趣(おもしろ)がかりと異にして、荘厳かつ堂々たる重厚な鳥居とそれよりはずっと遠く時代に創建された妙厳寺という曹洞宗の名刹がある。豊川稲荷は厄守の鎮守として別に祀られる豊川神社。昭和初期のモダニズム建築。豊橋市公会堂。